

高鍋

議会だより

3月議会

No.133



親子で胸ドキドキワクワクの入学式《東小学校》

予算 **防災機能強化** 2P

委員会 質疑 **中央公民館太陽光発電の設置** 8P

一般質問 **高鍋駅舎 これからの対応は** 12P

なでしこ サポーター **手話で手助け《手話サークル》** 14P

防災事業

町体育館大規模改修事業

1億9000万円

災害が起きた場合の避難場所を想定
多目的トイレや備蓄品保管倉庫整備

避難路整備測量事業

2370万円

東光寺・鬼ヶ久保線
天神・茂広毛平付線



起点・東光寺鬼ヶ久保線(東光寺付近)

新規事業

口蹄疫埋却地再生整備事業

9750万円

家畜の埋却地を農地に戻す事業

観光振興基本計画策定事業

520万円

町内の観光地の連携と整備

農村イベント開催補助金

120万円

ひまわり祭り、リレーマラソンなどに

多世代交流拠点施設(旧舞鶴荘)運営費

540万円

子どもから高齢者、障がい者も交流できる施設

基幹相談支援センター業務委託

1370万円

障がい者の支援事業所の紹介などを行う

避難所としての機能を併せ持つ施設にリニューアル「町体育館」



25年度 一般会計当初予算
68億円4600万円

防災機能強化

会計名	当初予算	対前年比	
		増減額	増減率
一般	68億4600万円	2億5100万円	3.8%
国民健康保険	29億6113万円	1億4583万円	5.2%
後期高齢者医療	4億4408万円	△863万円	△1.9%
下水道事業	3億9070万円	△3231万円	△7.6%
介護認定審査会	1137万円	3万円	0.3%
介護保険	16億7473万円	1億6918万円	11.2%
一ツ瀬川雑用水	1701万円	200万円	13.3%
水道事業	5億2476万円	4816万円	10.1%
合計	128億6975万円	5億7526万円	4.7%

3月定例会議会は4日に開会し、19日に閉会しました。今定例会では、一般会計当初予算、一般会計補正予算など議案28件の他、同意3件、諮問3件、意見書2件を原案通り可決しました。

一般会計予算は、2月に町長選挙が行われたため、骨格予算となりましたが、金額的には前年を2億5100万円上回っています。

◆◆◆ 24年度 補正 ◆◆◆

下水道事業 (4億347万円)

《質疑》 使用料の徴収漏れについては、どこまで進んでいるのか。
 《答弁》 今後は税務課において、他の公金同様、効果的な徴収を行いたいと考えている。

介護保健 (15億6768万円)

《質疑》 システム改修はどのような内容か。
 《答弁》 法律改正、あるいはサービスの内容の改正等のシステム改修である。

一ツ瀬雑用水管理事業 (1773万円)

《質疑》 水道メーター購入時に工夫していることは何か。
 《答弁》 見積もりを参考に可能な限り、コストを下げる工夫・努力をしている。

水道事業 (資本的収入420万円)

《質疑》 留保資金を活用するとのことだが、残高は幾らあるのか。
 《答弁》 3億2600万円程度になる。

一般会計 (76億2110万円)

《質疑》 水門操作委託について自動遠隔操作できるものは。
 《答弁》 町が委託を受けている12箇所中4箇所が遠隔操作できる。

《質疑》 子宮頸がんワクチン接種について少ないようだが。
 《答弁》 保護者の判断で希望者のみ接種する任意接種であったため。

《質疑》 小学校改善関係はどのような内容か。
 《答弁》 学校施設環境改善交付金を活用し、東西小学校舎6棟の改修に要する経費を計上したもの。

国民健康保険 (28億9217万円)

《質疑》 積立基金繰入戻しの原因は。
 《答弁》 23年度特別調整交付金の交付等により、前年度繰越金が多かったために基金を取り崩す必要がなくなった。

後期高齢者医療 (4億5207万円)

《質疑》 共通経費繰入金の減額については。
 《答弁》 広域連合が毎年最低限度の予算を確保した上で、歳出の削減に努めている結果だと認識している。

25年 特別会計予算

国民健康保険

総額は29億6113万円、前年比5.2%の増。基金より1億5000万円を繰り入れた。歳出では、医療費を例年並の5%と見込んでいる。

後期高齢者医療

総額は歳入・歳出それぞれ4億4407万9千円で、前年比1.9%の減。
 主なものは広域連合への納付金で、引き続き健康診査、温泉無料保養券の交付を実施。

下水道事業

総額は歳入・歳出それぞれ3億9070万4千円。平成25年2月末の水洗化率は76.8%。下水道工事予定箇所は、葺崎交差点から脇方面へ入った住宅地と中鶴の西都線、信号機交差点の近辺。

介護認定審査

歳入・歳出総額は1136万9千円。前年と比較すると3万円の増額。

介護保険

予算総額は、対前年比11.2%の増。16億7472万5千円。
 居宅サービス給付費、施設介護給付費、地域密着型介護給付費の増加を見込んでいる。



グループホーム(すいせん高鍋)のみなさん

一ツ瀬川雑用水管理事業

総額は歳入・歳出それぞれ1700万円。平成25年4月より新規加入により、使用料の歳入増、水田等の使用水量が増えることになる。

水道事業

資本的支出3億7586万6千円。
 平成25年度は、給水予定戸数8千766戸、一日給水能力 9千立方メートル。一日平均配水量6千27立方メートルで事業を予定。

《質疑》 配水管の耐用年数や、取り替えないといけない管はどのくらいあるのか。

《答弁》 地方公営企業施行規則では、耐用年数が一律40年となっているが、昭和40年〜50年代に布設した管の耐用年数は、25年であり既に耐用年数を過ぎている。
 耐震管路への更新まで考慮すると布設替えを必要とする。管路延長は今のところ、把握できていない。

《質疑》 竹鶴浄水池・老瀬浄水池の耐震診断は。

《答弁》 24年度に管路耐震診断、25年度に中央管理棟耐震診断、26年度以降に老瀬の浄配水池の2次診断を行いたい。

地場産業の発展育成

条例



利用が待たれる加工施設

◆地場産品の発展のために、付加価値を高めるための加工食品の開発する「農産物加工施設」がこのほど完成し、5月から運用が開始され、精米機や米ソバ製粉機も利用できます。

旧舞鶴荘の跡地利用



改修まじかの旧舞鶴荘

◆高齢者と子供たちの遊びの教室・健常者と障がい者が陶芸を通して触れ合う催しや・少年団・地区の子供会などのキャンプにも利用でき、有事の際は福祉避難所、避難場所として活用ができる「高齢者等多世代交流拠点」が設置されます。

■道路占用料徴収条例等の一部改正3件、新たに重度心身障害者医療費助成に関する条例など5件が制定されました。

人事

人権擁護委員	人権擁護委員	人権擁護委員	監査委員	公平委員	副町長
大塚 照夫	幸丸 公子	井手口 順	黒木 輝幸	児玉 芳雄	川野 文明
(四期目)	(二期目)	(二期目)	(二期目)	(三期目)	(二期目)

意見書

■地球温暖化対策を推進するための森林整備等に係る財源の確保を求める意見書

昨年10月から導入した「地球温暖化対策のための税」の用途に森林吸収源対策を位置づけ森林・林業・林産業における地球温暖化対策の実行に必要な財源を確保するための措置を要求するもの。

産業建設

口蹄疫埋却地を再生

問・^{きょうりょう}橋梁修繕は。

答・2年前に一度点検をして、悪いところがあるので、橋に合わせて長寿命化という考えで修繕する。

問・埋却地再生整備工事について。

答・石礫を除去して50センチくらいの表土を確保し、畑としての利用が出来るようになるもの。3年計画で、国、県の全額補助で、梅雨明けの7月ごろから始まる。

問・水質などに影響は無いか。

答・これまでの調査の結果、今のところ異常値は出ていない。

問・観光振興基本計画は。

答・3年計画、県の単独事業で平成25年度に計画策定し、26・27年度でソフトやハード事業を行う。今まで、観光振興のビジョンが無かったが、現在民間主導ではあるが動きが出てきた。今後どのように進めるかというときなので、これを機会に官民一緒に観光の計画を確立したい。



埋却地の再生が始まる

GPSで安否確認

特別委

問・通報装置を持っていること自体を忘れてしまうのでは。
答・新機種は携帯電話の前を移動するだけで感知する機能があり、安否確認につながる。

介護保険

認知症高齢者にGPS機能がついた携帯用緊急通報装置の貸与について。

問・浄化センター管理委託の算定基礎は。
答・歩掛で算定し、見積りを取り協議し計上している。
問・郡内の水洗化率は。
答・はつきりした数値は把握できていないが、木城町は接続条件が良いので高い水洗化率である。

下水道事業

問・温泉券の利用率が60%の原因把握は。
答・足腰が弱ってきているのが原因では。

後期高齢者医療

問・平成24年度の最終繰越金は。
答・1億5千万円を見込んでいる。

国民健康保険

問・一般会計からの繰り入れで保険料を1世帯当り5千円下げるには。
答・2千万円程度必要になるが、年々医療費が伸び、税負担も伸びていく中で下げるのは非常に厳しい。

文教福祉

中央公民館太陽光発電の設置

問・高鍋湿原の専門的な学術調査は。
答・学術調査を宮崎植物研究会に依頼し、報告書をまとめ、それを製本する予算である。

問・中央公民館や町体育館に太陽光発電の設置は。
答・中央公民館には、工事設計委託費を290万円、事業費についてはグリーンニューデール事業を活用し、肉付け予算で計上予定。体育館は屋根がアーチ型で設置に無理がある。



中央公民館に太陽光発電

問・学校運営協議会事業（別名コミュニティスクール）を立ち上げた背景は。
答・保護者・地域住民等から構成される学校運営協議会が設けられる。これは学校運営の基本方針の承認や、教育活動について意見を述べることができ、保護者や地域の意見を学校運営に反映させることができるというもの。

委員会質疑

必要なものだけを購入

総務環境

問・高鍋町PR番組をテレビでも。
答・県内の民放2社に企画書を依頼している。時間は5分程度確保した。

問・町史編纂は。
答・1982年（昭和57年）からの30年間の歴史を編纂する。

問・SOSネットワークの加入状況は。
答・加入促進を「町のHP」やイベント毎に行っており、2月末で2155名が登録している。配信に時間差が生じていたが、メール配信サービスの利用で一度に配信できる。

問・公売についての予算は。
答・昨年は公売に必要な消耗品予算が計上されておらず、公売を行っている県外の自治体から機材を借り受けて実施した。本年度は、自前で解決できるもの、買わないとできないものを検討し、必要なものだけを購入する予算とした。



公売を知らせる掲示板

ザ・一般質問

中村末子議員



中村 学校の耐震化、避難など生徒の安全をどのように確保するのか。

町長 児童生徒の安全のため、外壁改修、屋上すすり設置等を実施する。

教育委員長 学校の耐震化、津波対策について、安全確保の重要性の再確認を行っており、町長部局と協議しながら取り組んでいる。

中村 災害に強いまちづくりは。

町長 情報伝達の迅速化を図る屋外拡声子局増設、情報配信システムの更新、町体育館の大規模改修、津波避難ビルの追加指定等を着手する。

中村 農業に対する支援体制は。

町長 町、JA、県等が連携し、技術指導や各種制度の活用を図

り、生産性の高い先進的な農業を確立するため、各種団体等での研修会実施、農業者のスキルアップを図る計画である。

中村 6次産業化計画が県で予算化されているが、連携はあるのか。

町長 6次産業化、農商連携についての情報提供を行いたい。

中村 町長がよく言われる、「子どもがにぎわうまちづくり」とは、どのようなイメージか。

町長 子どもの人数が減ってきて、外に出て遊ぶ機会が減り、パソコンやゲーム機で、家の中で過ごす子どもが多くなっているようなので、イベント等を通して、できるだけ子どもが外に出てふれ合う機会をと考えている。



西中に設置された津波避難階段

防災拠点機能強化

庁舎の耐震補強

徳久 公共施設を防災拠点としての機能強化は。

25年度 ○役場庁舎の耐震補強に着手。

町長 24年度

○町体育館の大規模改修

○小中学校校舎附帯部分の耐震化が完了。

・地震の際に落下が懸念されるバスケットゴールの撤去

○西小のグラウンド改修。

・床壁の全面取替え

・避難広場の整備

・障害者用のトイレの設置等、避難所としての機能強化を図る。

徳久 防災減災総点検の取り組みは。

町長 橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁の定期的な点検や適切な修繕も実施する。



徳久信義議員

ソフト面では、津波避難ビルの追加指定や非常食料の備蓄等に取組んでいく。

25年度町長の考えは復興、防災、人にやさしいまち

八代 新年度予算編成の町長の考えは。

町長 復興、防災、人にやさしいまち、を重点施策として予算を編成した。

八代 どのような活性化戦略か。

町長 緊急雇用創出事業補助金を活用したテレビ広報番組、県補助金を活用した観光振興基本計画の策定、埋却地再生整備事業を計上。

八代 避難道路の取組みは。

町長 東光寺・鬼ヶ久



八代輝幸議員

八代 本年度の振り込み詐欺などの実態は。 総務課長 振込め詐欺27件、架空請求詐欺が24件、還付金詐欺が3件、振込め類似詐欺16件、金融商品等取引名目詐欺が10件。(24年1月～9月までの高鍋警察署管内の相談件数)

八代 学校の現場の消費者教育の推進は。 教育長 新学習指導要



避難路の整備が待たれる天神鶴

領内容の充実が図られ、消費者の基本的な権利と責任の理解を深め、主体的に判断し行動できるような社会科、技術・家庭科等の指導が行われている。

八代 地域における消費者教育の推進、特に高齢者や障がい者について伺う。

教育長 見守り役である民生委員や福祉関係者の方々に消費者啓発・消費者教育活動の支援が必要と考

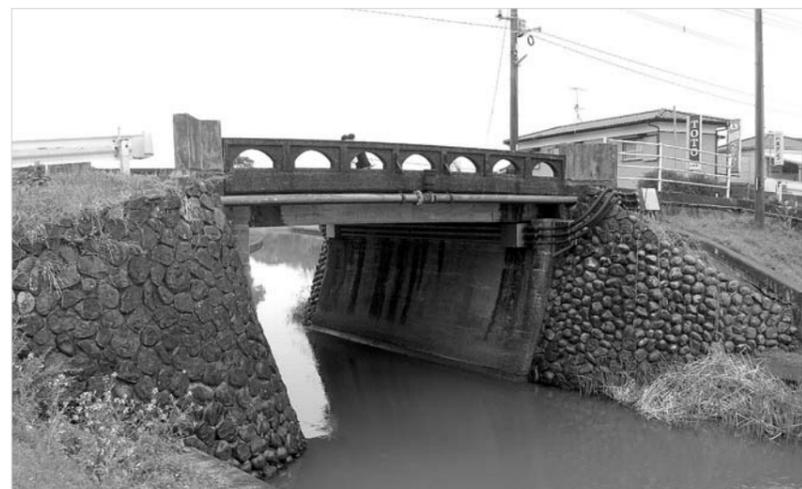
える。

八代 防災士育成の考えは。

総務課長 防災士を育成することは、活動の活性化の面からも意義深いものがある。他団体の例を参考に、補助制度について検討したい。

※要留意事項

「高鍋町SOSネットワーク防災情報配信システム」の登録手続きの簡素化を要望する。



橋梁の定期的な点検始まる(昭和28年3月完成のなかしま橋)

◇胃がん検診にピロリ菌除去

徳久 ピロリ菌の除去を胃がん検診に追加して、早期発見、除菌を行うことが肝要と考えるが。

町長 県内では、宮崎

市、都城市及び西米良村が胃がん検診時にピロリ菌の検査を実施しており、国県の動向を見ながら検討する。



図書館の利便性は

を参考に、作成して
いる。
24年度は農業高校
のグラウンド近くま
での避難訓練が行わ
れ、実践的に考えて
いく。保護者引き取
りの訓練マニュアル
の作成も進んでいる。

健康福祉課長 高齢者
福祉施設は、さまざ
まな状況を想定し訓
練を実施。保育園は
毎月1回、避難及び
消火訓練を実施。見
直しや安全管理の徹
底を求め、聞き取り
を行う。



後藤隆夫議員

自主防災組織の 早期確立と充実を 県の防災モデル地区育成事業の活用

後藤 公共及び介護施
設の消火設備、火災
報知機、スプリンク
ラー等の機能点検は、



自主防災組織の避難所運営訓練（水除地区）

町長 消防法の規定に
より用途、耐火構造、
面積等、設備基準に
基づいた消化設備を
設置している。
総務課長 年2回点検
を実施し、改善点を
含め東児湯消防に報
告している。
後藤 介護施設の消火
設備は、消防署と連

町長 動しているのか。
健康福祉課長 自動火
災報知機及び消防機
関へ通報する設備等
は法に基づき各施設
とも設置されている。
後藤 町の重要な財産
を管理している資料
館、美術館、図書館
等の消火設備は、
社会教育課長 施設に

は重要な古文書等が
保管されている関係
で、一般の消火器以
外にガスにより消火
する自動消火器を設
置している。
後藤 住宅密集地の消
火栓近くに消火ホー
ス格納庫を設置すれ
ば初期消火、延焼防
止に威力を発揮でき
ると思うが、設置の
考えはないのか。
町長 消防団各部が責
任を持って消火に当
たることと、一般住
宅火災警報装置の取
り付けを周知したい。
後藤 自主防災組織の
育成及び進捗状況は、
町長 県の防災モデル
地区育成事業を活用
し、育成を図ると共
に、各自治公民館を
自主防災組織として
位置づけており、組
織としては9団体が
強化されている。
後藤 自主防災組織の
早期確立と資機材の
充実を望む。



津曲牧子議員

図書館の利便性の向上は 総合的に検討

津曲「子どもがにぎわ
うまちづくり」を目
指しての具体的な支
援は、
町長 児童館への助成、
放課後児童クラブの

拡充、子育て応援と
くたく商品券の販売
などを行う。
基幹相談支援セン
ター、高齢者等多世
代交流拠点施設設置
を実施する。
津曲 子育て世代の負
担軽減策は、
町長 医療費を助成す
る乳幼児医療費助成
発達障害など問題を
抱える児童を支援す
る要支援児童ネット
ワーク会議を設立し、
問題を抱える児童が
スムーズに就学でき
るよう構築する。
津曲 図書館の利便性
の向上は、
町長 総合的に検討し
ている。
津曲 東小放課後児童
クラブの施設拡充は、
町長 学校内に新たな
施設を検討している。
津曲 高齢者福祉施設、
保育園、小中学校の
防災マニュアルは、
教育長 小中学校は、
国県の指針や手引き

黒木 歴史ある駅では
あるが老朽化が目立
つ。町への要求はあ
るのか伺う。
町長 駅舎買い取りの
打診は受けている。
黒木 具体的な内容を
伺いたい。
町長 まだ価格面や活
用策等協議すべき点
が多く、進展してい
ない状況である。
黒木 駅舎内に観光協
会等が入って、情報
発信場所として、活
性化につないでいる



黒木正建議員

高鍋駅舎の建て替え等は 買い取り活用策を検討

所もあるが実現へ前
進したらどうか。
町長 高鍋駅を児湯地
域の表玄関として、
活性化につなげたい。
町長 晴陽会うからの里
（旧蚊口保育園）
の上江地区の移転
に伴う跡地利用に
ついて
黒木 地元蚊口地区よ
り地域住民の交流の
場として活用したい
との要望が多く出て
いる。現状を伺う。
健康福祉課長 打診等
はあるが、今後、方
向性等を検討したい。
町長 蚊口地区の枯松伐
倒駆除について
黒木 枯松調査（町管
理地）の状況を伺う。
産業振興課長 墓地内



買い取りがあるのか 高鍋駅

は45本、海浜公園等
が123本である。
黒木 特に墓地内は倒
れた松による墓石損
壊等でトラブルの発
生も有りうる。早急
な対応と継続的な予
算確保が必要ではな
いか。
町長 伐倒駆除を県や

関係機関と協議を進
めていきたい。
黒木 キャンプ場の枯
松は、いつ倒れるか
分らぬ状況である。
海水浴場、サーフィ
ンと一体的な連携が
必要ではないか。
産業振興課長 安心・
安全に取り組みたい。

関係機関と協議を進
めていきたい。
黒木 キャンプ場の枯
松は、いつ倒れるか
分らぬ状況である。
海水浴場、サーフィ
ンと一体的な連携が
必要ではないか。
産業振興課長 安心・
安全に取り組みたい。

なでしこ サポーター 手話で助け

■今回は、昭和54年に創設された高鍋手話サークル（会長 森田良雄さん51歳）を訪ねました。
 会員は20名です。
 これまでに、石井十次顕彰会、県の障がい者スポーツ大会、耳の日大会等数多くの行事に聴覚障がい者をサポートするためにボランティアで参加されておられます。

記者 手話サークルに入ってきたきっかけは。

中玉利 会社の隣の喫茶店に聴覚障がい者の方々が食事に来られることが多く、店主に通訳を頼まれたのがきっかけでした。

武本 歯科助手をしていた時に筆談をされていた患者さんを見て、もつと言いたいことがあるのでは、私も手話ができるかと思ひ、もう19年が過ぎました。

荒川 「お知らせ高鍋」の募集を見て何かボランティア活動をしたと思ひ入会しました。

記者 これまでで楽しかったことや嬉しかったことは。

森田 聴覚障がい者の方に付き添い病院に行った時、お礼を言われた事です。

児玉 聴覚障がい者の方と旅行に行き、多くの県のサークルとの交流を行った事です。
 中玉利 手話を通して現在の妻と運命の出会いがあったことです。



手話講習会の様子

記者 苦労されたことは。
 森田 通訳依頼が来たときの人数確保。
 荒川 難しい言い回しの言葉で簡単な一般的な言葉に変換する作業が大変です。

武本 なかなか相手の手話を読み取れないことがあるのが私の苦労です。

記者 これからの目標や町民の方々へアピールしたいことは。
 中玉利 手話講習会を開

催することで聴覚障がい者の方々がどんな仕事をし、何を楽しみ、何に困っているのかを直に知ることができます。お互いの生活の一部を共有することで、より快適な暮らしができると思ひますし、私たちはそれを願っています。
 荒川 手話は手の動きだけでなく、表情も豊かで魅力あるコミュニケーションです。多くの人に興味を持っていただきたいと思ひます。
 児玉 講習会への参加者を増やすことで、サークル活動の活性化につながりたいです。
 鶴田 もっと手話を覚えて聴覚障がいの方々とたくさん話をする事です。



式典での手話通訳の様子



森林林業林産業活性化議員連盟

▼2月5日
 児湯広域森林組合
 小徑木加工場視察



広報委員会
 新しい布陣

永友良和
 青木善明
 八代輝幸
 池田堯
 岩崎信や
 徳久信義

◆編集後記◆

早いもので東日本大震災から二年が過ぎました。あの時の大津波の映像が今でも頭に焼き付いて離れないのは、私だけでしょうか。
 わが町高鍋もあのクラスの津波が来たら町ごとのみ込まれてしまいます。議会的一般質問でも、毎回のよう津波対策や、防災に関する質問がでてきます。
 町民の方々、特に海岸沿いの方々は不安を背負って生活されているのではないかと思ひます。
 今一度、防災に備えて考えてみてはどうでしょうか。
 (永友良和記)

平成25年5月10日発行